

市民の声



知覧町永里

山口 禎男

ガイドとしての喜びとその使命

平和を語り継ぐまち、哀しい歴史の特攻のまち、そして江戸時代から続く美しい庭園の武家屋敷のまち、こんな素晴らしい知覧のまちに私は心を惹かれ、名古屋から長崎を経て、2年前に、ここ知覧のまちに移り住むことができました。

しばらくの間、海外生活（カナダ及びスペイン）を試みましたが、帰国後に名古屋熱田神宮にて拝聴した平和会館初代館長板津忠正様の「生還した特攻兵」

の講演に大変感動致しました。

その出会いから翌年の知覧特攻基地戦没者慰霊祭に参列するようになりました。

慰霊祭に参列するたび、知覧への思いが強くなり、社会の役に立つことを願っていた矢先、市商工観光課のボランティアガイドに登録することで、その一歩を踏み出すことができました。

平和を語り継ぐ町として、尊い命を犠牲にした特攻兵の史実を忘れることはできません。

我が子のように慈愛に満ちた特攻の母と慕われた鳥濱トメさんの母心にも心を打たれます。

1036名の特攻隊員の供養をしながら、全国から訪れる観光客をはじめ、平和学習のため訪れる中学生、高校生に、「平和を願い、国を思い、家族を思い、自ら沖縄の海に散華し

た特攻兵の哀しい歴史」を語り継いでおります。

今日の平和は特攻兵の心からの叫びであり、「戦争は絶対起こしてはいけない」ことを特攻兵と同年齢である生徒たち、そして指導する立場の先生方にも強く訴えております。

少なくとも戦争経験者の一人として戦争の恐ろしさ、悲惨さを語り継ぐことが私たちがガイドとして大事な使命と考えております。

観光客の多くが戦後生まれです。戦跡巡りをする中で、ある特攻兵の悲しい話をしますと、私も心が入り観光客と共に涙を流すこともしばしばあります。

「またいつの日か必ず知覧に参ります。」

お帰りの際のこの言葉に私はガイドをしてほんとうに良かったと思います。そして、その喜びに一層これからも元氣いっぱい頑張りたいと思っております。

す。

結びにボランティアガイドとして私を指導してくださる市商工観光課、平和会館の職員の皆様、知識の収集に協力して下さる知覧図書館の皆様に心から感謝申し上げます。

平和を願いながら。

人事案件

◆人権擁護委員◆



汐満 美奈子 氏

川辺町平山

人権擁護委員は、市が議会の意見を求め、法務大臣に推薦します。

任期は、法務大臣が委嘱した日から3年間です。



編集後記

近頃の天気予報は当たらないとよく聞きます。

9月24日、晴れの予報の下、知覧小学校の運動会が開催されました。開会式が始まると同時に雨が降り出しました。小学生の皆さんが楽しみに待っていた運動会、一生懸命練習を頑張ってきたのにと思うと胸が痛みます。

開会式が終わる頃にはグラウンドもびしょびしょで、走れる状態ではありません。先生方の協議の結果、その日はダンスと応援合戦のみとなりました。子どもたちは、大雨の中びしょ濡れになりながら一生懸命頑張ってくれました。

残りの競技は、火曜日に実施され、雨の予報でしたが、素晴らしい運動会日和となりました。

科学の粋を集め、確率の高い天気予報を出してもらいたいものです。

(鮫島)

▼広報編集委員会

委員長 西 次雄
副委員長 鮫島 信行
委員 日置 友幸
大久保太智
浜田 茂久
満留 秀昭



◎発行：鹿児島県南九州市議会
TEL 0993(83)2511

◎編集：議会広報編集委員会
FAX 0993(83)4658

◎発行責任者：蔵元 慎一

ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp>